

「平成28年度オリンピック・パラリンピック教育推進校」実施報告書

【学校名】 銚田市立銚田北中学校

【テーマ】 I II III IV V

- I 「オリンピック精神」の活用
- II 「おもてなし」や「ボランティア精神」の醸成
- III 障害者スポーツへの関心の向上
- IV 異文化理解・国際教育の促進
- V スポーツを楽しむ心の醸成

【実践研究タイトル】

スポーツを楽しみ、異文化理解を深めよう。

【実施学年】

全学年（男子 109 名，女子 98 名）：アンケート調査
 第2学年（男子 35 名，女子 24 名）：バスケットボール
 第1学年（男子 37 名，女子 36 名）：柔道

【目的・ねらい】

オリンピック・パラリンピックについて学習することを通して、スポーツの素晴らしさや多様な関わり方について考える。また、2020年の東京大会に向けて機運を高める。

【種類】 ※当てはまるものに○・複数可

- 各教科(保健体育科)
- 道徳
- 外国語活動
- 総合的な学習の時間
- 特別活動
- 教科以外での取組(部活動)

【実践内容等】

1 実施内容

(1)全学年対象「オリンピック・パラリンピックについてのアンケート調査」
 オリンピック・パラリンピックについてのアンケート調査を実施し、その結果を生徒にフィードバックした後、体育理論「国際的なスポーツ大会が果たす文化的役割」とともに、オリンピック精神について学習を行った。

オリンピック・パラリンピックについてのアンケート

※以下の欄は、回答オリンピックでの経験です。ご自身の経験がある項目に○をつけてください。(ルールは知らなくても大丈夫です)

・あなたは、オリンピックを観たことがありますか。 はい・ いいえ

・あなたは、パラリンピックを観たことがありますか。 はい・ いいえ

・あなたは、学校、リゾオリンピックを観ましたか。 はい・ いいえ

・次の夏季オリンピックはいつ、どこで行われるのと思っていますか。 どの国

※以下の欄は、夏季オリンピックでの経験です。ご自身の経験がある項目に○をつけてください。(ルールは知らなくても大丈夫です)

アーチェリー 陸上競技 ボッチャ カヌー 自転車 馬術
 5人制サッカー 7人制サッカー ゴルフボール 柔道 パワーリフティング
 ボート セーリング 射撃 ショートトラックスピードスケート 空手 卓球
 トライアスロン 車椅子バスケットボール 競いずフェンシング ヴォルleysアーチェリー
 馬いずダンス

・実際にテレビ等で観たことがある項目に○をつけてください

アーチェリー 陸上競技 ボッチャ カヌー 自転車 馬術
 5人制サッカー 7人制サッカー ゴルフボール 柔道 パワーリフティング
 ボート セーリング 射撃 ショートトラックスピードスケート 空手 卓球
 トライアスロン 車椅子バスケットボール 競いずフェンシング ヴォルleysアーチェリー
 馬いずダンス

・あなたはオリンピックを観ると、一番注目するものは何ですか。 当てはまるものがないも、自由回答してください

観る競技 ・ 競技(競技名) ・ その他() ・ 観ていない理由

・あなたはパラリンピックを観ると、一番注目するものは何ですか。 当てはまるものがないも、自由回答してください

観る競技 ・ 競技(競技名) ・ その他() ・ 観ていない理由

・今後、オリンピックを観たいと思いますか。 はい・ いいえ

・今後、パラリンピックを観たいと思いますか。 はい・ いいえ

・オリンピックの歴史や、オリンピックが行われる理由など、知っていることがあれば、記入してください

ご自身の経験がとうございました！！

アンケート調査の内容

(2) 第1学年「柔道」

1年生の保健体育科「柔道」の授業において、担当教員と柔道経験者の教員がTTを行った。リオ・オリンピックでの柔道日本代表選手の活躍と男子代表チームの復権について学習した。また、受け身と寝技を中心に、苦手意識をもつ女子生徒等にも、安全に楽しく活動するスキルを習得させた。



男子代表チームについての学習



寝技の学習

(3) 第2学年「バスケットボール」・バスケットボール部の部活動

2年生の保健体育科「バスケットボール」の授業及びバスケットボール部の活動において、リオ・オリンピックでの女子バスケットボール日本代表チームの活躍を映像で見せながら選手の動き方について学習し、知識を深めさせるとともに、ゲームに取り入れて活動を行った。



VTRでの学習



動き方についてゲームで確認

2 成果

- (1) アンケート調査や授業後に、オリンピック・パラリンピックの歴史や各種目、選手等に興味を持ち、積極的に参加や観戦をしてみたいという生徒が増えた。
- (2) 本校には柔道部がないため、教科の授業以外では柔道の活動を目にする機会はほとんどないが、今回の実践を通して、高等学校では柔道をやってみたいと関心をもった女子生徒もあり、オリンピック・パラリンピックの価値を踏まえた教育活動の成果を感じた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う問題点】

- 学校全体でオリンピック・パラリンピック教育を推進していくために、全職員で共通理解を図り、体制づくりをすることにより、部活動等での浸透が期待できる。
- 特別活動や、総合的な学習の時間との関連を図ることが課題である。
- 今後は、「おもてなし」や「ボランティア精神」の醸成について、道徳等との関連を図り、実践を継続していく必要がある。